

東海大学イメージング研究センター(TICAR)

施設紹介 2016年8月設置



概要

東海大学とニコンインステック株式会社の包括協定により、ニコン製のバイオイメージング機器と産業機器を備えた研究センターです。

先端機器により細胞から物質まで可視化により幅広く研究を支援



■ 最先端の拠点

バイオイメージング機器と産業機器を備えた国内最初の拠点です。最先端の顕微鏡やX線装置などを用いて細胞イメージングや材料計測などを行うことが可能となっています。

■ 誰でも利用可能

どなたでも利用可能な施設です。本学の研究者と学生、他大学・研究機関の研究者、さらに企業の方にもご利用いただけます。

■ 産学連携

国内のイメージング分野におけるトップランナーとして、産学連携による共同研究を積極的に推進します。

■ 社会貢献

研究の加速を促し、研究成果を社会へ還元し、また知の創造を目指します。

■ サポート

ニコン技術陣から技術的・教育的なサポートが得られます。

■ ワークショップ

定期的なワークショップ・セミナーにより、最先端の情報が得られ、研究者間交流が可能です。

■ 共同研究

本学マイクロ・ナノ研究開発センターが、本センターを活用して「高分子超薄膜の医用応用に関する共同研究」(研究代表者 工・精密 教授 植谷和義)を実施していく計画となっています。

■ お問い合わせ先

神奈川県平塚市北金目4-1-1
東海大学マイクロ・ナノ研究開発センター
電話 0463 58 1211 (代表)